

【医療情報技師 ワールド・カフェ ～医療情報技師への期待と課題～】

医療情報技師は医療情報技術の専門的人材としての活動を期待され、日本医療情報学会育成部会により12年前に認定制度が発足された。当初は、日々の診療業務に関わる保健医療福祉情報システムの企画・開発、運用保守・管理などを行う情報処理技術者として、医療機関等では主に病院情報システムの導入において、その能力が期待されていた。

しかし、この数年、病院情報システムベンダーにも導入に関するノウハウが蓄積されてきて、病院情報システムの導入もパッケージ化されたものが主体になり、「医療情報」を取り巻く環境が大きく変化している。つまり、医療情報技師に対するニーズや、求められる能力の大きさが変わってきていることが想定される。

本セッションでは医療現場の第一線で活躍する医療情報技師たちが「自分たちはどのくらい医療現場で期待されているのか」或いは「自分たちの課題は何なのか」についてグループディスカッションを行う。その成果物として、保健福祉医療機関における医療情報技師は、病院長など上層部の方々にとって、どのように見られているのか、何が足りないのかなどを問うためのアンケート作成を行い、それを各グループで発表する。

作成したアンケートは、後日、各地区の医療情報技師会から保健医療福祉機関に対して発信し、回収・集計した後、医療情報技師会にて報告を行う予定である。

※ ワールド・カフェとは、最近、地域における多職種協働の際によく用いられる、会議におけるファシリテーションの手法です。あたかも、自宅のようにリラックスした環境の中で、議論ではなく対話を行うことで創造性が発揮されるようになります。今回、ソフトドリンク・ビール等アルコール度の低い飲料を用意しさらにリラックスできるようにしました。みなさんお気軽にご参加ください。